



学生の頃、お世話になった方々も多い学生寮の様子です。当時30棟以上あった寮も今では1/3程度に減っています。その背景としては、少子化の影響や経営者が変わった際に経営を辞められた寮、取り壊された建物もあれば、一般住宅、高齢者介護住宅になった建物など様々です。

また新しく経営を始められた寮や、ペガサス(旧竜英荘)の様に名称が変わったり移転して経営を続けている寮もあります。

飯塚に立ち寄られた際は懐かしい寮の様子をご覧くださいはいかがでしょうか？

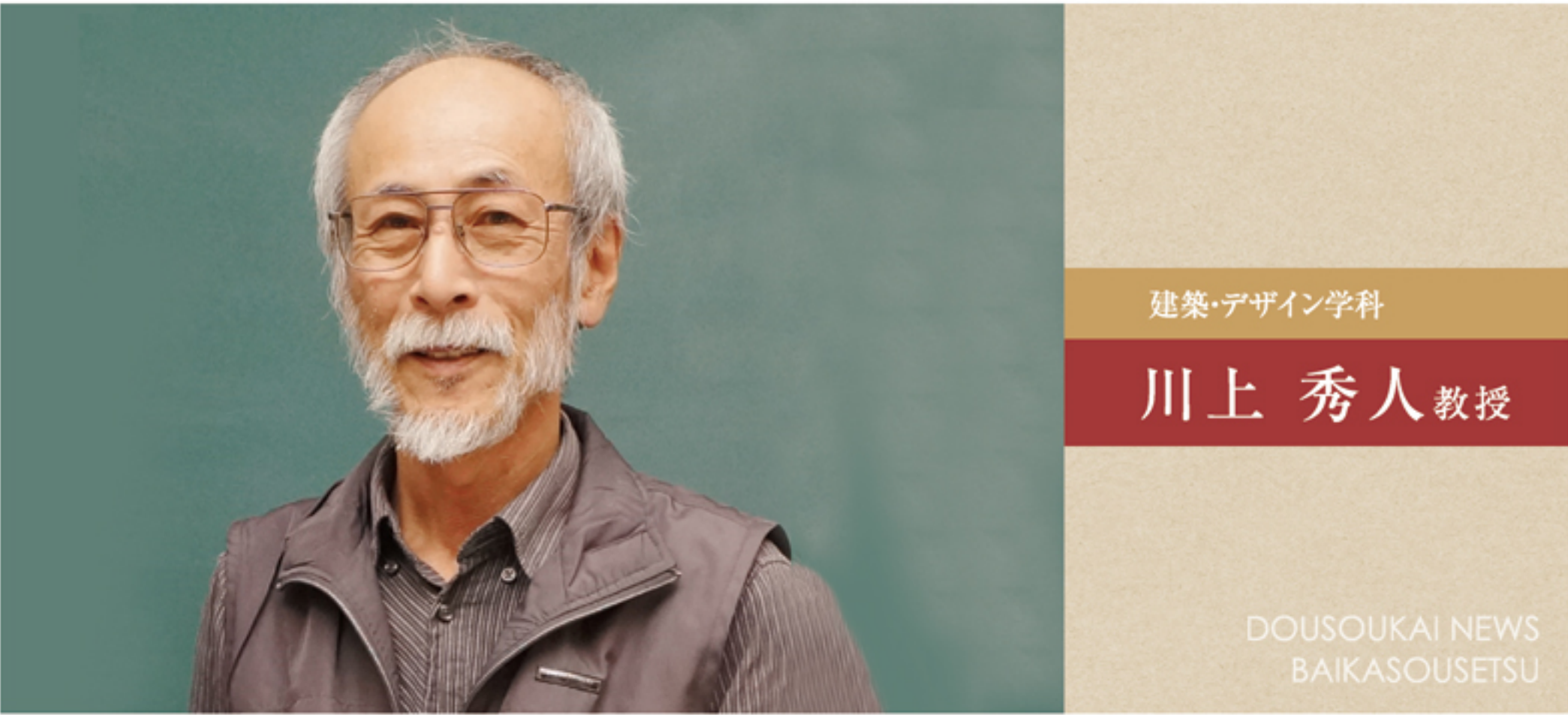
① Aishou (アイショウ)	〒820-0101 飯塚市綱分 925-2
② BOARDING HOUSE ペガサス (旧 竜英荘)	〒820-0112 飯塚市有井 357-19
③ KSK コーポ	〒820-0112 飯塚市有井 357-113
④ カレッジハウスはらだ	〒820-0112 飯塚市有井 353-20
⑤ カレッジ野見山	〒820-0111 飯塚市有安 1025-23
⑥ コーポ野見山	〒820-0112 飯塚市有井 352-9
⑦ みどり荘	〒820-0112 飯塚市有井 355-11
⑧ 庄内はうす	〒820-0111 飯塚市有安 962-170
⑨ 青雲荘	〒820-0112 飯塚市有井 353-58
⑩ 渡辺寮 (旧住所より移転)	〒820-0011 飯塚市柏の森 92-35
⑪ 野見山ハイツ	〒820-0111 飯塚市有安 1025-22
⑫ セトル飯塚 (旧 近畿女子高等学校 ※一般人も入居可)	〒820-0003 飯塚市立岩 1234-3

平成 26 年度 2 月現在



近畿大学産業理工学部同窓会は平成25年1月より「[近畿大学産業理工学部同窓会Facebookページ](#)」を開設しました。卒業生だけでなく、在学生、保護者の皆様、そして地域の方々に産業理工学部の活動を広く知って頂くことを趣旨としています。大学の情報だけでなく、周辺地域のイベントやオススメの店の紹介、新しいスポット情報など、産業理工学部がある筑豊の旬の情報を発信します。

また、諸先輩方の活躍や同級生の近況を知るためのコミュニティサイトとしてご活用ください。この機会にFacebookに登録してみませんか？その際は是非「いいね!」ボタンをお願いします。さらに、これからは「見る」だけでなく、「参加する」同窓会としてHP、FBページ共々よろしくお願いします。



同窓生の皆さんにおかれましてはそれぞれの分野でご活躍のことと拝察致します。

私は昭和63年に産業デザイン学科に着任し、建築・デザイン学科、教養・基礎教育部門と移籍しながら、本学部には27年間もの長きにわたってお世話になりました。着任以前にも非常勤講師として5年間ほど建築学科（昼間部・夜間部）に通いましたので、合わせると30年を越えることになります。同窓生を始め、教職員の方々に深く感謝しております。

研究室では「何でも最初は初めて、やってみなくちゃ分かん、ダメでもともと」をモットーとして授業や卒業研究に取り組んできました。人生に「同じようなこと」はあっても「同じこと」はなく、すべてが「初めてのこと」ばかりだと思いましたので、特にゼミ生には暗誦して頂きましたが、少しはお役に立てましたでしょうか。サークル活動の活性化を目指して学友会の改革にも取り組みましたが、余り効果は見られないようなので、何となく寂しい気がします。

同窓会はお互いに依って立つ強力な基盤となりますので、ともに学んだ「縁」を大切にし、益々発展されることをお祈りしております。



「大学生活はいかがでした？」

学部生の頃は卒業するためだけの授業を受けていた感じでしたね。就職活動しないで、その日その日を過ごしていると、あるときに金子先生とゼミの川上先生から「社会に出て与えられた仕事をするよりも、もう少し自由にしてはどうか？」と言った後押しもあって、大学院へ進む事にしました。

川上先生の方針で自分のやりたいテーマを勉強できました。初めて外で展示を開いたのは3年生の時で、以降、飯塚市だけでなく久留米・田川・福岡などで展示。最初は先生に助力頂いたんですが、自分の力で展示したいと思って、それ以降は他の人の作品を見に行った会場先や、個展した場所までのご縁で展示出来るようになりました。

「印象に残っている思い出は？」

震災支援保養合宿のワークショップに参加して、小学生クラスの芸術担当を受け持ちました。子ども達に先生と呼ばれたり絵を教えたりと、展示以外の活動が出来たというのがすごく印象に残っています。

実は子どもが大好きで保育士にあこがれていました。中高生の社会体験学習も保育園を選んだりして。でも結果的に選んだ進路は建築・デザイン方面でした。そんな中で、まさかこういった別の形で子ども達に関われるとは思っていませんでしたね。道は一つじゃないんだなと改めて思いました。次は自分に何が出来るとなるだろうという、自分の可能性に気付かせてくれた体験でしたね。おかげで作品を通して、みんなに伝えること、自分にやれることが増えた気がします。

「今後について」

まずは、社会人としてちゃんと仕事について両親を安心させたいです。学生から社会人への切り替えもかねて、1度拠点を福岡市内に移し、環境を変えて社会人としてスタートしたいと思っています。でも、大学生生活で築いてきた縁は残したいと思っているので、飯塚にはちょくちょく戻ってきます。

そして、すぐにはムリかも知れないけれども、「高松歩美」としての活動も続けたいですね。



同窓会の皆様、我が産業理工学部は、1966年(昭和41年)に近畿大学第二工学部として飯塚に誕生して以来、「近畿大学九州工学部」来年でついに創立50周年を迎えるに至りました。人生50年と言われた時代もあることを考えると、まさに一つの人生を辿ってきたとの感があります。

我々は50周年を迎えるにあたって、これまでの経過を総括するとともに、これからの発展を確実にするため、50周年記念事業を行う準備を進めています。今のところ、記念式典と祝賀会は2016年(平成28年)6月4日午後1時に飯塚市内で開催することが決まっています。その他の行事も追々具体的になりますので、詳細は改めてご案内いたします。

この50周年記念事業、特に記念式典と祝賀会は、同窓会の皆様とともにこれを祝い、ともに学部の将来を語り合う場にしたいと考えています。同窓会のネットワークを広げることは、本学部のみならず近畿大学の発展の礎として不可欠のことであると認識しています。皆様には、お近くにあるいは連絡の取れる卒業生がいらっしゃいましたら、ぜひ一緒に6月4日に産業理工学部まで足をお運びくださるようお願いいたします。

お一人でも多くの卒業生が集い、将来を語り合う場になることを期待しています。



祖父が創業した建具屋を継いで日々修行中、昭和59年度 建築学科卒の鬼丸 太です。高校時代に建具職人を生涯の生業にと思った時、通学圏内という事もあり、進路を建築技術が学べる近畿大学九州工学部にしました。

4年生の時に卒業論文の為にパソコンを駆使し、耐震構造の研究。この時にコンピューターが面白くなり、卒業後は制御用コンピューターのシステムエンジニアを生業とし関東へ就職しました。それが30数年も前の事です。

「えっ、今の仕事建具屋やなかったん？」とお思いでしょう。その10年後、建具職人になる為に帰郷した次第です。現在は2代目の父が他界し、鬼丸建具店3代目として日々精進しています。

冒頭から私事ばかりで申し訳ありません。現在、同窓会活動では微力ながら大先輩方のお手伝いをさせて頂いております。日頃は自営業という事もあり、地域活動優先になってはしまいますが、より多くの同窓生の皆様にご満足頂けるよう、今後とも尽力したいと思っています。